

どっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地
TEL (0857) 38-9500
FAX (0857) 38-9577
印刷 中央印刷株式会社



美しく豊かなむらづくり大会2025 「ハワイアロハホール」（湯梨浜町）

○「美しく豊かなむらづくり大会2025」を開催	2
○第47回 全国土地改良大会 佐賀大会	3
目	
○令和7年度 中国四国ブロック女性理事意見交換会	4
○2025ため池フォーラムinひろしま	4
○土地改良区機能強化支援事業監査実務等向上研修	5
○「農業・農村フォトコンテスト2025」審査会	6
○とっとり水土里の女性会がサツマイモを収穫	7
次	
○第80回 農業農村工学会中国四国支部講演会支部賞受賞式	7
○あつまれ、 みどり 水土里のなかまたち	8
○編集後記	8

「美しく豊かなむらづくり大会2025」を開催

11月19日(水)に「ハワイアロハホール」(湯梨浜町)において、水土里ネットとつとりが『美しく豊かなむらづくり大会2025』を開催しました。

当日は、会員はもとより、多面的機能支払活動組織など約450名の参加がありました。

開会にあたり、松本会長から「農村の美しい景色をいつまでも残し、日本が誇る財産を豊かにして活用する事が重要であり、これからも皆様方と共に美しく豊かなむらづくりを推進したい。」と挨拶がありました。



中国四国農政局 古賀 徹次長

続いて、中国四国農政局 古賀徹次長、鳥取県 農林水産部 中島和彦部長より来賓として祝辞を頂き、進藤金日子参議院議員からはビデオメッセージがありました。次に、土地改良事業に長年の功績があった個人の方へ土地改良功労者表彰を行いました。講演では、令和6年度農林水産祭天皇杯を受賞された、えーひだカンパニー株取締役兼ひだキッチン部長 田邊裕子から「10年後も“えーひだ”な地域づくり」と題して、中山間地域の活性化に向けて、地域ビジョンを作成し、目標達成に向けて、様々な問題点を洗い出し前進する取り組みについてお話をいただきました。

続いて、「農業構造転換集中対策における農業農村整備」と題して、農林水産省 中国四国農政局 農村振興部 設計課 青木公平課長に土地改良法の改正により様々な施策の紹介や予算について講演いただきました。

なお、大会閉会後に、とつとり水土里の女性会が環境保全活動により砂丘地で栽培しているサツマイモを来場された方に配布しました。



田邊裕子取締役の講演



青木公平課長の講演



松本昭夫会長

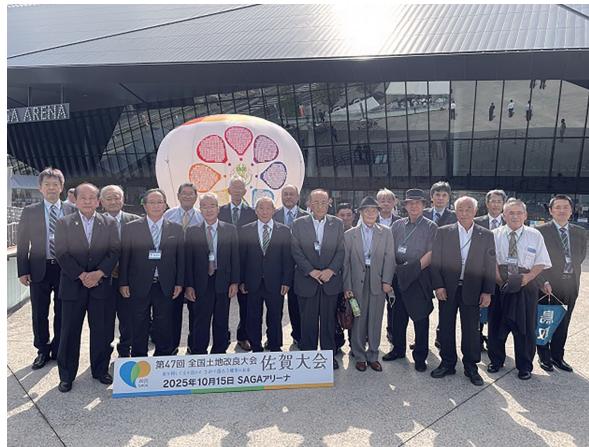


土地改良功労者表彰 記念写真

第65回 土地改良功労者表彰 受賞者

氏名	職名	所属団体名	氏名	職名	所属団体名
岩崎 一	理事長	福部土地改良区	吉田 隆俊	理事	松尾溜池土地改良区
池田 勇	総括監事	久米土地改良区	天島 清憲	理事長	中山地区畑地土地改良区
長柄 正秋	理事	灘手土地改良区	野口 哲史	理事	大原千町土地改良区
山田 道雄	(前)総括監事	赤崎町土地改良区	武部 肇	理事長	佐陀川右岸土地改良区
清水 彰人	筆頭理事	仙津土地改良区	湯原 永明	理事	西部土地改良区
能登路 幸輝	理事	箕蚊屋土地改良区			

第47回 全国土地改良大会 佐賀大会



会場入口で記念撮影

統いて、山口祥義 佐賀県知事、坂井英隆 佐賀市長、宮原真一 佐賀県議会議長、進藤金日子 参議院議員が来賓として挨拶されました。

土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰（6名）、農村振興局長表彰（16名）、全国土地改良事業団体連合会長表彰（44名）がそれぞれ表彰され、本県からは本会の前理事であります、湯郷勲氏（前福部土地改良区理事長）が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

基調講演では、「次世代へ、希望をつなぐ土地改良」と題して農林水産省 青山健治 農村振興局次長が講演、続いて「白石地域の農業農村の将来に向けて－白石土地改良区の変遷－」と題して白石土地改良区 久原英之 主事と江口功汰主事が事例発表をされました。

最後に、次期開催県である奈良県土地改良事業団体連合会 奥野信亮 会長へ大会旗が引き継がれ、閉会となりました。

現地研修として、大会翌日の午前中に筑後川下流右岸農地防災事業千代田線の事業概要について説明を受けました。

国営農地防災事業により整備された大規模なクリーク水路整備で、受益面積約10,800ha、総延長173kmの農業用排水路（クリーク）の法面保護工や体積土砂の撤去を行い、広域的な災害を未然に防いで、農業生産の維持及び農業経営を安定させるとともに国土の保全を図っています。

第47回 全国土地改良大会「佐賀大会」が10月15日（水）、SAGAアリーナで、『水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来』を大会テーマに掲げ、全国土地改良事業団体連合会と佐賀県土地改良事業団体連合会の主催により、4,000名を越える全国の土地改良関係者参加のもと盛大に開催され、本県からは19名が参加しました。

式典では、最初に佐賀県土地改良事業団体連合会 田島健一 会長が開会挨拶され、続いて、全国土地改良事業団体連合会 二階俊博 会長による主催者挨拶がありました。



二階俊博会長



筑後川下流右岸農地防災事業所にて事業説明

令和7年度 中国四国ブロック女性理事意見交換会



道下和子会長

9月25日(木)、広島ガーデンパレスにおいて、中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会が開催されました。

女性理事意見交換会は、農業、農村の現状や土地改良事業を進める意義などについて理解を深め、土地改良団体全体の男女共同参画のさらなる推進に向けて、中四国ブロック管内の女性理事及び関係者によって行われます。

講演では農業委員会ウーマンネット広島 道下和子会長より、女性登用のために行っている活動を紹介いただきました。

意見交換テーマ「土地改良における男女共同参画が進む環境づくり」では、女性理事の登用に向けて、市町村の介入を積極的に行なった事例紹介や、女性に限らず年齢や育児、介護など様々な境遇に置かれている人にむけて、誰でも働きやすい環境づくりへ取り組むことなどの意見が出ました。様々な角度の視点からの意見を受け入れられる土壤を整えていく重要性を再認識する機会となりました。



意見交換の様子

「2025ため池フォーラムinひろしま」で 他県のため池整備事業の実例を視察

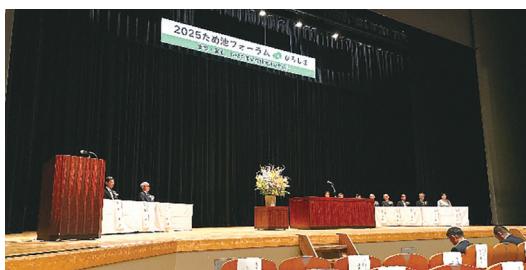
10月23日(木)～24日(金)、広島県内にて「2025ため池フォーラム in ひろしま」が開催され、水土里ネットとつとりから4名の職員が参加しました。

ため池は先人たちが築き上げてきた重要な財産の一つですが、営農者の減少や高齢化の進行により、管理が行き届かなくなるなどの問題も顕在化しています。そういった社会課題を解決していくための知見を深める機会とすることを目的に「安心・安全 持続可能な農村地域のため池」をテーマに開催されました。

1日目は広島市内JMSアステールプラザにて、防災重点農業用ため池総数全国1位の広島における整備事業の実例や、新しい分析手法の提案などの発表を受けました。

2日目は現地見学会となり、二班に分かれ、現在改修工事中の小野池と改修工事がすでに終了し公園として整備が行われている春日池をそれぞれ視察しました。

なお、令和8年度のため池フォーラムは岐阜県で開催されることが既に決定しています。



公演の様子



小野池での説明の様子

土地改良区機能強化支援事業監査実務等向上研修



水土里ネットとつとり 宮本事務局長

8月22日(金)「新日本海新聞社中部本社ホール」において、水土里ネットとつとりが「土地改良区機能強化支援事業監査実務等向上研修」を開催し、土地改良区の監事等58名の参加がありました。本研修は、土地改良区等の内部けん制機能及び運営基盤の強化を図るため、土地改良区の監事を対象に開催するものです。

開会にあたり、水土里ネットとつとり 宮本事務局長が「本研修が本日出席された監事の皆様の今後の活動の参考となれば幸いです。」と挨拶しました。

なお、研修内容については、以下のとおりです。

1. 土地改良区の監事の職務について

水土里ネットとつとり 柏木会計指導員が、監事の職務、監査の役割等の説明をしました。その中で、監事が行う監査は、大きく分けて「業務監査」と「会計監査」があること、監査報告の必要性や毎年のように発生している土地改良区不祥事事例を紹介しました。

2. 土地改良区の指導・検査について

鳥取県 農業振興局 農地・水保全課 谷田課長補佐より、鳥取県が実施している土地改良区検査の概要及び指摘事項等について説明がありました。

令和6年度は定期検査(原則3年に1回)を20土地改良区で実施し、①組織及び運営に関する事項では規程の指摘、②会計経理に関する事項では、細則の指摘等を事例紹介されました。なお、紹介された内容は、鳥取県 農地・水保全課のホームページに掲載されています。

3. 財務諸表について

最初に水土里ネットとつとり 吉村会計指導員が財務諸表等と帳簿の関係、チェックの考え方等を説明。次に、総務企画課 山崎技術指導員が、財務諸表の整合性とチェック方法について説明しました。

4. 監事による監査方法について

水土里ネットとつとり 津中会計指導員が、土地改良区監査細則の監査内容を説明後、監事監査簿に基づいて監査を実施すること。また、監査事項の留意事項について説明しました。その中で、「監査は運営・事業・会計・経理の各項目を確認しながら監査すること」等について説明しました。



農地・水保全課 谷田課長補佐



研修会の様子

「農業・農村フォトコンテスト2025」審査会



10月27日(月)土地改良会館において「農業・農村フォトコンテスト2025」審査会を開催しました。

本年度は、応募数95点(応募者数39名)があり、三吉佐知子(鳥取市)さんの「至福の時間」が特選に選ばれました。

本年度の入賞作品について、中山哲史 審査員長が「今回入賞した作品はどれも技術的にきちんと撮影されており、撮影のアイディアも面白い作品がそろった。」と講評されました。



特 選 「至福の時間」



審査委員特別賞 「草焼き」



準特選 「特産物を育てる大地」



準特選 「八朔綱引き」

各 賞	作品の題名	氏 名	住 所
特 選	至福の時間	三 吉 佐知子	鳥取市
準特選	特産物を育てる大地	筏 津 栄	倉吉市
準特選	八朔綱引き	藤 原 馨	島根県松江市
審査委員特別賞	草焼き	長谷川 公 子	島根県安来市
児童・生徒部門賞	ブルーベリーが採れたよ?	伊 達 結 月	江府町
入 選	夏空と向日葵	小 濱 良 平	鳥取市
入 選	冬將軍大暴れ	辻 泰 啓	大阪府豊中市
入 選	新緑を映す神秘的な池	福 田 孝 二	鳥取市
入 選	彼岸花とそばの花	澤 口 典 子	鳥取市
入 選	競演	真 砂 昇 平	日吉津村
入 選	はでかけの黄昏	岡 垣 孝 志	米子市
入 選	梅雨前の星空	村 川 節 秀	米子市
入 選	せいくらべ	谷 口 壮 彦	鳥取市
入 選	海が見える田んぼで稲刈り	湯 村 美千代	倉吉市
入 選	走る季節、実りの大地	岩 田 壮 一	東京都武蔵野市

とっとり水土里の女性会がサツマイモを収穫



集合写真

10月24日(金)、25日(土)に「とっとり水土里の女性会」が環境保全活動として作付けしているサツマイモの収穫を行いました。今年は、天候に恵まれ家族で参加でき、賑やかな収穫となりました。

収穫したサツマイモは『美しく豊かなむらづくり大会2025』にて参加者の方に配布しました。

「毎年女性会のサツマイモを楽しみにしている」というお声もいただけて、女性会の活動が認知されてきているのだと実感しました。



収穫の様子



さつまいも配布の様子

第80回農業農村工学会中国四国支部 支部賞表彰式および講演会に出席

令和7年10月23日、第80回農業農村工学会中国四国支部講演会(松山市)で支部賞表彰式がありました。「五本松地区畑地かんがい施設の更新事例」(熊中良行、山本恭也、宮本英樹)、「中興寺地区梨団地整備(水田の畑地化)事例」(井手添聖、池口宗徳、山本秀延)、「WEBシステムを利用した農業水利施設管理者サポート体制の構築」(福政美里、澤麻衣子、坂本親雄)の3件が優秀賞に選定され、技術管理課 熊中課長補佐が表彰式に出席しました。

また、今回も「折渡地区における水利施設の統廃合事例」(福井健太郎、木村満基、西川佳希)、「農業集落排水施設診断業務におけるRPAの実践と成果」(山口浩史、山崎速代)の2件について、山口参事と倉吉事務所 福井主任が発表を行いました。



表彰式の様子



発表の様子（山口参事）



発表の様子（福井主任）



愛と絆のある農業・農村をめざして みどり 水土里を愛する なかまたちを順次ご紹介

久米ヶ原土地改良区 山本 詩織



視察先のランチ

賑やかです。母は家に台風が来たみたいと言っていますが、みんなが帰った後はとても静かになるので寂しそうです。なので実家に近い私は、ちょくちょく帰って、ご飯やお菓子を食べに行こうと思います。

最後になりますが、初めて中部土地改良事業推進協議会の先進地視察研修に参加させてもらいました。視察先は、滋賀県と大阪府に行きました。スマート農業技術の導入についての話や、ヤンマーミュージアムで農機具の話を聞きました。一番はご飯が美味しかったです(笑) 夜は大阪で都会を



夜中のラーメン

満喫し、夜中のラーメンを楽しみました。毎日ダイエットしないと、と思っています。

一緒に視察に参加されたみなさんお疲れ様でした。また機会があったらご一緒しましょう。

今後も頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひします。



ヤンマーミュージアム



編集後記

編集後記 あっという間に年末ですね。年末年始の準備は進んでおりますか？わたしは昨年末、インフルエンザに罹り家族中に移し、気持ちも体もリフレッシュできない年末年始を過ごしました。今年こそは健やかな年末年始を過ごせるよう体調管理に気を付けます！それでは皆様よいお年をお迎えください。 (福政)